



※より多くの情報を掲載するため、概要は必要最低限にとどめております。情報の詳細は各助成元ホームページなどでご確認ください。

● 三重ボランティア基金イメージキャラクターとその愛称募集

【申込受付期間】9月15日(火)(当日消印有効)
【応募対象】三重県に在住、若しくは三重県出身の方。
その他通勤・通学等で三重県に縁のある方であれば制限はありません。

【賞金/件数】・最優秀賞 1点:ギフトカード3万円分
・優秀賞 4点:ギフトカード5千円分

【応募方法】詳しい応募方法はホームページでご確認ください。 http://www.miewel.or.jp/vkikin/index.html

【問い合わせ】財団法人 三重ボランティア基金/TEL:059-227-9994 E-mail:vkikin@miewel.or.jp

● 第13回ボランティア・スピリット賞

【申込受付期間】9月18日(金)必着(郵送、またはホームページから直接応募可能)
【応募対象】ボランティア活動をしている個人またはグループの2008年4月以降に行われた(行われている)活動。
・個人応募:応募締切時に12歳以上18歳以下であること。
・グループ応募:構成メンバーが中高生のグループであること。

【賞金/件数】コミュニティ賞:150名(グループ)2万円/ブロック賞:40名(グループ)5万円/全国賞:10名(グループ)10万円
文部科学大臣賞:2名(グループ)10万円+アメリカ・ワシントンD.C.で開催される全米表彰式に招待
上記のボランティア活動支援金の他、メダル、賞状、トロフィーなどが授与されます。

【応募方法】詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.vspirit.jp/

【問い合わせ】ボランティア・スピリット賞事務局(応募係)/TEL:03-5501-5364 E-mail:mail@vspirit.jp

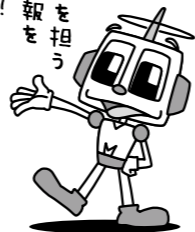
● 財団法人国際コミュニケーション基金 助成・援助募集 (調査研究助成/国際会議開催助成/社会的・文化的諸活動助成)

【申込受付期間】10月1日(木)~10月20日(火)(必着)
【助成対象】各助成により異なります。詳しくはホームページでご確認ください。
【助成金額/件数】調査研究助成:1件あたり300万円まで、約10件/国際会議開催助成:1件あたり100万円まで、約10件
社会的・文化的諸活動助成:1件あたり100万円まで、約10件

【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。 http://www.icf.or.jp/information/index.html

【問い合わせ】財団法人 国際コミュニケーション基金/TEL:03-5978-1051 E-mail:info@icf.or.jp

今後のボランティア活動を担う学生さんにも役立つ情報を掲載していきますよ!



書籍の森
ご協力ありがとうございます。
引き続き書籍の寄贈を募集中です。 NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。
【募集書籍】

ちょこつと編集後記
台風や地震など、大きな自然災害が相次いでいます。「いざという時の備えは?」「家族との連絡は?」「身を守る術は?」日頃から防災に対する意識を高め、関心を持つべきだと改めて感じさせられます。【S】

松阪発信! 市民活動の情報紙 アロマ
次号は2009年10月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。
次回の原稿締切は2009年9月30日(水)です。 担当/澤

松阪市市民活動センター
TEL 0598-25-3801 予約専用 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

Table with 2 columns: 会議室 (大会議室, 小会議室) and 機材等 (印刷機, マイク). Includes pricing and booking information.

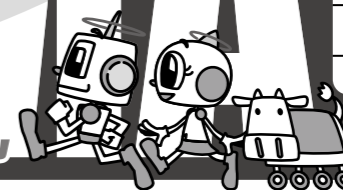


松阪市市民活動センターホームページ
http://www.katsudou.com
市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/

AROMA
A Resident Of Matsusaka Activity

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
TEL 0598-25-3801 0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.24



ちよつと気になる 団体の声
今日はぐるぐるさんです。

ジャンルにこだわらず活動する「ぐるぐる」は、リユース・リサイクルの情報交換を軸に、地域情報の発信にも力を入れています。親しみやすいこの名前は「不要になった物が必要としている人の元へくると回っていくように」という想いが込められたネーミングです。

地域に密着した情報を10年以上発信し続けるグループがある。グループの名前は「ぐるぐる」。来場者数が1,000人規模に成長したフリーマーケット「ぐるぐるマーケット(※1)」を主催したグループでもある。「活動のきっかけを与えてくれたのも、名前を付けてくれたのも主人なんです」と笑顔で話すのは、ぐるぐるの代表、加藤小映子(かとうさえこ)さん。「使わなくなった物のやり取りをする情報交換の場はないだろうか」と、ご主人に相談した時「なければ作ればいい」という言葉に心を動かされた。そこで「不要品を再利用してもらうための情報掲示板を設置したい」と地元中川三区の自治会長に相談を持ちかけた。加藤さんの想いは通じ、掲示板制作の予算も出してもらえることとなった。こうして平成10年、中川公会所に「伝言板ぐるぐる」が設置された。

※1【ぐるぐるマーケット】:ぐるぐるが主催し、リサイクル、リユース意識啓発のため開催していたフリーマーケット。年1回開催で2006年まで8回継続された。回数を重ね規模も大きくなったが、経費や日時、人員など様々な事情もあり苦渋の選択の末「子育てや仕事が落ち着いたときに再開できれば」という前向きな休止となった。

活動当初、専用紙で物品情報を掲示していた伝言板は、時代の流れやニーズに合わせ「伝言板ぐるぐる」の名前を残して地域密着型情報紙に形を変えていった。現在では松阪地域を中心に41か所に掲示されている。A3用紙は加藤さんの温かい手書き文字やイラストなどで賑やかに埋め尽くされ、情報紙発行に携わるメンバーと手分けして柔らかい色合いに着色される。紙面からは加藤さん達が本当に楽しみながら制作している様がありありと伝わる。パソコンを使ったチラシやポスター作りが主流の中、手書き文字は逆に目を引くことだろう。加藤さんの中学時代の夢は「新聞記者になること」だったという。地域情報の発信という市民活動を通してその頃の夢は叶ったようだ。

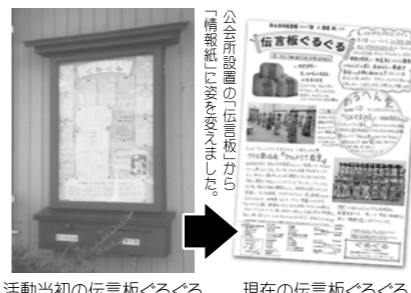


ぐるぐるの代表、加藤さん

加藤さんは活動を始めた頃、ボランティアとしての強い想いや、周りの期待に応えようとする気負いもあり悩んだという。活動の継続にも不安を抱えるようになり、思い切ってこの悩みを切々とメンバーに打ち明けた。すると「私はやらされている意識はないよ。加藤さんと一緒に活動していることが楽しいんだよ」と胸のつかえを取り除く答えが返ってきた。この返事に加藤さんは「この言葉を聞いた瞬間に(涙が)ダァって(笑) この人達と無理せず、ずっと活動を続けていきたいと思いました」と、当時を振り返る。ボランティアグループ代表者の強い想いはメンバーを引っ張る牽引力になる。しかし、想いの強さは時に周りを見えなくしてしまうのかも知れない。加藤さんが学んだ市民活動を続ける秘訣は「入り過ぎた肩の力を抜く」ということだったようだ。

今回の取材で改めて感じたことは、市民活動は「家族の理解」が加わることで強さが増すということだ。ぐるぐるはその良い例だと言える。活動を始めた当初、小さいお子さんを抱えるメンバーも多かったぐるぐるでは、家族で参加しやすい活動環境を整えていった。そうすることで、家族の理解も深まり、積極的な協力も得ることが出来た。予想を遥かに上回る規模に成長したフリマ「ぐるぐるマーケット」もメンバーとその家族の協力があってこそ成功を収めたと言えるだろう。加藤さん達のモットーは「ジャンルにこだわらず、楽しむこと」だ。これからも家族で楽しめる活動を、信頼出来る仲間と共に無理することなく継続してほしい。

「伝言板ぐるぐる」に情報を掲載したい方はコチラまで 090-4164-2474 (加藤)
※加藤さんから「団体さんのイベント告知などにも活用してくださいね」と嬉しいお言葉も頂戴しました。団体の皆さん、是非ご利用ください。



活動当初の伝言板ぐるぐる 現在の伝言板ぐるぐる

事業報告 松阪市市民活動センター 打ち水大作戦 2009



取材に来ていただいたテレビ局のカメラマンさんもお誘いして一緒に打ち水していただきました。ご協力ありがとうございました。

当センターはカリヨンプラザ1階で、この日に合わせ用意したポットの残り湯や雨水などの二次利用水を使って賑やかに打ち水しました。事前にセンター界隈の商店街などから「私たちもお店の前で打ち水しますよ」と「打ち水人宣言」もいただきました。商店街の皆さんありがとうございました。今年も新聞やテレビなど多くのメディアに取り上げられたことで、環境問題に関心を持ってもらうきっかけになったのではないのでしょうか。このように、今後も当センターでは環境意識啓発につながる活動を推進してまいります。

打ち水大作戦2009のHPはコチラ
<http://www.uchimizu.jp/>

東京のNPOが主になり全国に広がりみせるエコ活動「打ち水大作戦」。当センターもこの活動の趣旨に賛同し、今年で2回目の実施となりました。今年も松阪市商店街連合会、松阪市自治会連合会、中部電力株式会社松阪営業所にも賛同いただき、暦の「大暑」にあたる7月23日(木)午後2時から各地で実施しました。スタッフは今年も浴衣や作務衣で夏らしさを演出。加えてセンターの名前を手書きした松阪木綿で松阪らしさもアピールしてみましたよ。



松阪木綿に手書き文字でセンターのPR。ちなみにスタッフの浴衣も松阪木綿です。縦縞が粋でしょ？



浴衣を着ていた呉服店のおかみさんと呉服店をインターンシップ中の高校生3人も一緒に打ち水してもらいました。



現在活動報告展示中!

センターラウンジ奥の展示スペース

街の小さなギャラリー(仮)

の利用方法をご提案します

センターラウンジ奥にある展示スペース「街の小さなギャラリー(仮)」をご存知ですか? この展示スペースはセンター登録団体さんであれば、作品展示から、団体PR、活動報告まで様々な形態でご利用いただけます。もちろん無料ですよ! 未登録の団体さんも、センターにご登録いただければご利用可能です。「でも実際にどうやって展示すればいいの?」という方のために、現在、当センターが実施したエコ活動の報告をパネルにして展示しております。参考にしてくださいね。



展示スペース、団体登録に関するお問い合わせは、お気軽に
市民活動センター:0598-26-0108 まで
皆様のご利用をお待ちしております。

…と、その前に

緊急企画 街の小さなギャラリー(仮)の「(仮)」もなんとかした〜い!

単に「(仮)」をとってしまうことも考えたのですが、実はスタッフの間で「ギャラリー」という名前だと、作品展示以外の利用がしにくいのでは? という意見もありまして…(納得) 改めて、この展示スペースの正式名称を募集しちゃいます。是非とも皆様のお知恵をお貸しください。採用された方には「あの展示スペースの名付け親は私なのだよ。ハッハッハ」と自慢していただける権利を差し上げます。…あまり嬉しくないですか? では、大した賞品をご用意できませんが「名付け親賞」を準備しておきます。(あまり期待しないでくださいね) それでは皆様、ご応募お待ちしております!

※正式名称が決定する前でも展示スペースはご利用いただけますよ。

● 応募方法 ●

メールでご応募ください。件名を「展示スペース正式名称募集の件」とし、「お名前」、「連絡先」を明記の上

katsudou@ma.mctv.ne.jp

までお送りください。9月30日(水)締切とします。
※名称が採用された方には追ってご連絡申し上げます。

事業報告 市民が作る楽市楽座 『鈴の音市』に出展しました

8月1日の土曜日、今年も鈴の音市にブース出店しました。この日、天気予報は降水確率80%でしたが、鈴の音市は予定通り開催。みんなの願いが通じたのか、天候も奇跡的に曇り空をキープ。お祭り終了の30分前に豪雨に見舞われましたが、お祭りの大半をなんとか無事終えることができました。



三重中京大学 ボランティア部のブース

松阪市 社会福祉協議会のブース

今年は松阪市主催事業の「ネクストドア」の講座実施ブース(ゲームブース)との共同出店として、松阪市社会福祉協議会や、三重中京大学のボランティア部の皆さんとも連携し、大いに賑やかなブースとなりました。センターブースでは、初の試みとなる「市民活動センター〇×クイズ」を実施しました。「市民活動センターはカリヨンプラザの3階にある:答=〇」という簡単な問題から、「NPOの意味は『非政府組織』である:答=×」という、子ども達にはちょっと難しい問題まで、参加していただいた方が楽しみつつ市民活動のことを知ってもらおう問題をご用意しました。各ブースの皆様、ご苦勞様でした。また、〇×クイズにご参加いただいた皆様ありがとうございました。



市民活動センターのブース

今回の松阪市社会福祉協議会の皆さん、三重中京大学の皆さん達との連携は、当センターとしても大変貴重な経験となりました。このつながりを大切に、今後の展開に活かしていきたいと思えます。

街の情報コーナー



みんなで考え、みんなでつくる松阪のまち

中心市街地市民意見聴取会 ～ 松阪駅を中心とするまちづくり ～

松阪市全体のまちづくりを考えながら、松阪駅を中心とした中心市街地のあり方について、市民の皆さんからのご意見を伺う意見聴取会を開催いたします。

- アドバイザー: (経 済) 芹澤高斉 (三重中京大学准教授)
(都市計画) 岩田俊二 (三重短期大学教授)
(都市計画) 浅野 聡 (三重大学准教授)
(商 業) 中谷 泰 (中心市街地活性化アドバイザー)

松 阪 市 長: 山中光茂

- 日時** 第1回 平成21年9月6日(日) 13:30~16:00
テーマ 松阪駅を中心とするまちづくりについて
第2回 平成21年10月24日(土) 13:30~16:00
テーマ 中心市街地のまちなみ整備と松阪駅周辺の整備
第3回 平成21年12月5日(土) 13:30~16:00
テーマ 中心市街地の整備イメージ

場所 松阪市産業振興センター 3階ホール
※事前申込み不要。当日、直接会場へお越しください。
※参加定員180人(先着順)

【問い合わせ先】
松阪市都市計画課中心市街地活性化室
TEL: 0598-53-4158 FAX: 0598-26-8184
E-mail: tos.div@city.matsusaka.mie.jp
<http://www.city.matsusaka.mie.jp/toshi/index.htm>

緊急企画
～こんなあったらいいな!を実現企画～
あなたの団体に対して
企画力向上講座を無料実施いたします!

※謝礼など一切不要です。
※実施日時をご希望をお聞きし、相談の上、決定いたします。
※実施会場は当センターの会議室を予定しております。
※ご応募は登録団体に限らせていただきます。
※今回はお試事業として、抽選で1団体とさせていただきます。

応募方法: メールでご応募ください。件名を「団体無料企画講座の件」とし、「団体名」、「代表者名」、「連絡先」を明記し、katsudou@ma.mctv.ne.jp (担当/米山) までお送りください。9月14日(月)締切とします。